

芦屋市からのお知らせ

芦屋市ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>

平成28年度

まちづくり懇談会〈概要報告〉

問い合わせ 芦屋市自治会連合会事務局 ☎38-2007(市民参画課内)

平成28年11月24日に開催された「まちづくり懇談会」には、市長・副市長・教育長・部長級職員が出席し、芦屋警察署からは生活安全課長・交通課長に出席いただきました。98人の参加があり、28項目にわたる質問について懇談をしました。

懇談会をまとめた「まちづくり懇談会報告書」は、自治会連合会のホームページや行政情報コーナーで閲覧していただけます。

「まちづくり懇談会」のご意見・ご要望

- 西山町交差点の安全対策
- 奥池地区児童への通学助成
- 阪急バス山口営業所前行きの増便
- 東山公園の整備
- 市の道路開発計画
- 防犯カメラ設置の将来構想
- 市宮宮塚町住宅
- 茶屋集会所
- 災害時要配慮者リスト
- 要配慮者を高所に避難させる方法
- 市道稲荷山線の歩道の安全対策
- 市宮住宅の跡地利用計画
- 芦屋浜地区の防犯・交通安全
- オープンガーデンの時期と樹木の剪定(せてい)
- 潮芦屋国際交流センターへのATMとWi-Fiの設置
- 南芦屋浜地区交差点への信号機の設置
- 南芦屋浜の海釣り公園のゴミ
- 川西町における動物病院の建設
- 山中中学校の建て替え工事
- カラス対策
- 東山町におけるマンション建設
- 岩園町東側の西宮市高塚町の大規模開発
- 無電柱化
- 通学路の安全点検
- 空き家対策
- 住みたいまちアンケートの結果
- 認可保育所の建設中止
- 市の予算の使い方

「まちづくり懇談会」の主な質問・回答 《概要一覧》

■防犯カメラ設置の将来構想 防犯カメラは平成28年度に説明会等を開催し、80カ所設置しています。設置したカメラについては、犯罪の発生率等の推移を見ながら効果を検証していきます。	今後は、検証結果や説明会等でいただいたご意見も参考に、新たな設置や活用も含め、配置計画を検討、更新していきます。
■災害時要配慮者リスト 平成29年1月現在、18団体が受け取り済みで、2団体が受け取りを希望しています。平成28年10月31日に受け取り済みの団体に、取り組みの	紹介をしていただきました。平成29年1月に要配慮者のかたにダイレクトメールを送付し、地域との顔の見える関係づくりを周知しました。
■要配慮者を高所に避難させる方法 集会所兼避難所の建設は考えておりません。3階以上で広い空間がある民間建築物等があれば、津波一時避難施設としての協力を求めています。また、市が公的サービスを実施する民間施設を誘致する際の条件に、防災機能を付	すことも検討していきます。 津波浸水想定区域は、地区防災計画の策定を進めていく際に、要配慮者を高所に避難させる手立てを地域と考へて、担架等の搬送用資機材の整備を進めます。
■オープンガーデンの時期と樹木の剪定 開催時期は、4月や5月など世話をしている花壇等によりいろいろな意見があります。今後オープンガーデンは実行委員会形式の開催を目指しており、その中で調整しながら工夫・検討していきたいと考えています。	信号・標識や歩行等に支障となる枝の除去は、従来通り確認後速やかに枝の除去等を行います。公園内の低木剪定は、開花に影響を及ぼさないよう、開花期終了後の剪定に努めます。
■潮芦屋国際交流センターへのATMとWi-Fiの設置 郵便局およびATMの設置は、平成25年3月に地元自治会・県企業庁・市議会・本市から日本郵便株式会社および株式会社ゆうちょ銀行に要望書を提出しましたが、人口規模や地域の状況から、設置困難との見解が示されました。平成28年6月にも再度要望しましたが、現時	点で前向きな回答は得ていません。今後も引き続き要望を重ねていきたいと考えています。 Wi-Fiの設置は、平成29年度に公共施設へのWi-Fi整備を予定しており、潮芦屋国際交流センターも整備対象と考えています。

男女共同参画に関する市民意識調査の結果概要

問い合わせ 男女共同参画推進課 ☎38-2023

性別にかかわらず、だれもが生き生きと暮らすことができる男女共同参画社会の実現に向けて、「第3次芦屋市男女共同参画行動計画ウィザ・プラン」を策定し、さまざまな取り組みを進めています。

昨年8月に「男女共同参画に関する市民意識調査」を行いましたので、その結果の概要をお知らせします。詳細は、3月下旬より、市ホームページをご覧ください。

【調査の概要】

- 調査期間 平成28年8月18日～31日
- 調査対象 平成28年8月1日現在、18歳以上の市民で、無作為に抽出した2,000人(男女各1,000人)
- 調査方法 調査票による本人記入方式
郵送配付・回収
- 回収率 全体48.3%(女性55.4%、男性43.0%)

【結果概要まとめ】

男女共同参画の取り組みやことごらについての認知度がまだまだ低い状況ではありますが、男女共同参画に関する意識が一部、進んでいると見受けられる結果もあり、歩みをとめず、さらに施策を推進します。



【結婚・家庭生活】



『結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい』
→賛成 73.2%

『結婚してもやり直したいときは離婚してもよい』
→賛成 65.6%



『女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活したほうがよい』→反対 5年前調査より増加(48.5%→55.8%)

『夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』→反対 5年前調査より増加(48.1%→62.1%)



男女共同参画の意識が進んでいるのではないかとこの結果となっています。

【男女共同参画の取り組み】

認知状況は、いずれの項目も「知らない・聞いたことがない」が最も高く、5割以上となっています。「言葉も内容も知っている」と「言葉を聞いたことがある」を合わせると、①「芦屋市男女共同参画推

進条例」の36.7%が最も高く、ほか⑨「芦屋市DV相談室」など3項目が3割以上です。これからはさらに各取り組みについて、普及啓発等に努め、理解を深めていく必要がある結果となっています。

